

事後調査計画書

平成 27 年 5 月 29 日

広島市長 殿

事業者 (法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

住 所 広島市中区東千田町二丁目 9 番 29 号

氏 名 広島電鉄株式会社

代表取締役社長 椋田 昌夫

電話番号 082-242-3500

広島市環境影響評価条例第 30 条第 2 項の規定により、次のとおり事後調査計画書を提出します。

対象事業の名称	(仮称)石内東地区開発事業
事後調査の種類	工事の完了後
工事の着手又は完了の年月日	工事の完了：平成 27 年 3 月 31 日
事後調査の項目及び手法	別紙のとおり
事後調査を行う期間	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
事後調査報告書の提出の時期	毎年度 5 月末
その他	(委託業者名) 名 称：株式会社オオバ 広島支店 代表者：支店長 濱川哲郎 所在地：広島市中区西十日市町 9-9

工事完了後における事後調査の項目及び調査地点、調査時期・頻度

調査項目		調査方法	調査地点、調査時期・頻度
騒音・振動	道路交通騒音・振動	騒音 (JIS Z 8731) 振動 (JIS Z 8735)	調査地点：4 地点 (図 1) (広島湯来線 2 地点、市道 1 地点、伴広島線 1 地点) 調査時期：商業施設 I、II 及び業務施設が稼働した時期 (3 回) 調査頻度：各 1 回 (休日)
動物・植物・生態系	ため池の生物群集 (イモリ、モリアオガエル及び水生昆虫類)	生息状況観察	調査地点：移植先 1 ヶ所 調査時期：移設後 5 年間 (平成 27 年度～平成 29 年度) の 3 ヶ年 調査頻度：1 ～ 2 回/年
	貴重植物種 (キヨスミイトゴケ、タカサゴキジノオ、タニヘゴ、オニヒカゲワラビ、ヘラシダ、ハンゲショウ、センリョウ、セトウチウンゼンツツジ、クロバイ、チュウゴクザサ、コ克蘭、オオミズゴケ) なお、評価書において実施する計画であったカビゴケ、タマミズキ、ササユリについては、工事中の事後調査において消失を確認しており、完了後の事後調査から削除した。	生育 (活着) 状況観察	調査地点：各移植先 調査時期：移植後 5 年間の (平成 27 年度～平成 29 年度) の 3 ヶ年 調査頻度：1 ～ 2 回/年
	林縁保護植栽	生育状況観察	調査地点：林縁保護植栽実施地点 (図 2) 調査時期：工事着手 5 年間の (平成 27 年度～平成 29 年度) の 3 ヶ年 調査頻度：1 ～ 2 回/年
	ギフチョウ ・サンヨウアオイ また、事後調査結果に基づき、有識者の助言を得ながら、必要に応じて林床管理や水辺の維持管理のための体制作りを図って、移動・移植した種等の生息・生育及び事業計画地周辺の生息・生育環境が将来的にも保たれていくような環境づくりを目指すものとする。 なお、ギフチョウについてはサンヨウアオイが定着したと判断されるまで、管理を継続できるよう検討する。	サンヨウアオイの生育 (活着) 状況観察 ギフチョウの生息状況確認 (各移植先に方形区も設定し、定量確認を行う。)	調査地点：移植先 3 ヶ所 調査時期：移植後 5 年間の (平成 27 年度～平成 29 年度) の 3 ヶ年 調査頻度：1 回/年

